

それを基に、行政視察や関係団体との意見交換会の実施、問題点及び提言事項の整理などを翌年8月末までに行っています。9月定例会で各常任委員長から調査結果を報告し議長に報告書を提出。10月に議長から市長へ提言書を提出します。市民や関係団体との意見交換会は所管事務調査のテーマに沿って行われていて、内容が充実していると感じました。

**総務文教委員会
管外行政視察**

総務文教委員会では、8月22と23日に、山口県周南市と福岡県嘉麻市で管外行政視察を行いました。周南市では、「周南市公共施設再配置計画」についての説明を受けました。



稲築東義務教育学校の図書空間

同市には合併により重複した公共施設が多数あり、40年間で30%、1766億円の削減を目標としています。対策として施設の複合化と多目的化を目指しているとの説明がありました。今ある公共施設を計画的に有効活用して「身の丈にあった施設保有量」としていくように方向を定めているとのことでした。

周南市ではシティブロモーションにも注力しており、その1つ「市民ライター制度」は、令和3年11月から、周南市の観光、自然、イベント、グル

情報を市民の目線で写真と記事を入れてSNSで発信するものです。閲覧ユーザー数は令和5年8月段階で約4万4000人と、市民参加が大きな力となっていました。福岡県嘉麻市では令和5年4月、同時に3校の義務教育学校を開校しました。総事業費約140億円。今回はその1校で、児童・生徒数約600名の稲築東義務教育学校を視察しました。

校舎中央部の吹き抜け部分に図書空間を備え、学校とは思えないようなデザインが施されていました。また体育館は、災害避難者対応として冷房設備が整備されましたが、担当者の説明では「この夏厳しい暑さのため電気代などのくらいになるのか心配」との説明がありました。どの学校でも「ふるさと学習」「キャリア教育」「異学年交流（小・中）」等を中心に据えて教育を進めているとの説明がありました。

**松山踊り団体連に
市議会として参加**

県下3大踊りの1つである「備中たかはし松山踊り」が8月14日から16日まで、4年ぶりに開催されました。16日には、市議会連として踊りコンテストに参加しました。15日は台風で中止になりましたが、初日と最終日は天候に恵まれ、踊りの音色と合の手が夏の夜に元気づけていました。



松山踊り議会連

**岡山市議会議員研修会に
参加しました**

8月9日に、まなび広場にいみ・大ホールにおいて、第53回岡山市議会議員研修会が開催され、多くの議員が参加しました。建築家の西村浩氏を講師に、「空き家の増大と住宅政策」スポンジシティの未来」についての講演を聴きました。津山市のホテル跡地を使った交流拠点づくりなど、箱物に頼らない賑わいづくりの事例を学びました。



まなび広場にいみでの岡山市議会議員研修会

**産業経済委員会
管内行政視察**

産業経済委員会では、ラフォーレ吹屋と備中町西油野地内の農道高岩線の管内行政視察を実施しました。ラフォーレ吹屋（成羽町吹屋地区・農林業体験実習館）は、新たな指定管理者として（株）下電ホテルと（株）ティ・シー・シー（天満屋グループ）の共同企業体により運営されます。本来は令和5年4月の開業予定でしたが、改修工事の遅れ、スタッフ確保の面からも開業が遅れてしまったと議会でも説明があり、今回、観光課・指定管理者の説明を受け、再開直前の現場を確認しました。なお、令和5年7月25日から営業を再開しています。



農道高岩線復旧工事現場

の後2度にわたり被災したため、ボーリング調査を行い、農政局が確認し、今後査定を受けて「地すべり対策工事」を行っています。

**総務文教委員会
所管事務調査**

8月17日、総務文教委員会の所管事務調査を行いました。高梁認定こども園（仮称）については、8月の段階で事業費が38億6700万円となっていました。物価高騰による見直し（試算）時に比べ、ZEB化により約5億円の増額となったとの報告がありました。また、有



総務文教委員会所管事務調査

漢学園については、3月に示された令和5・6年度の事業費が12億6000万円でしたが、周辺整備も含めた全体事業費が13億2000万円になるとの報告がありました。委員からは、今後も事業費削減に努めるよう要望がありました。高梁市図書館については、開館から6年半が経過した中、利用状況、イベントや展示スペースの活用等の新たな取り組みについて説明を受けるとともに現地を視察しました。



高梁市議会
YouTube 公式チャンネル

配信中！

高梁市議会 Youtube チャンネルで、過去の一般質問を見ることができます。